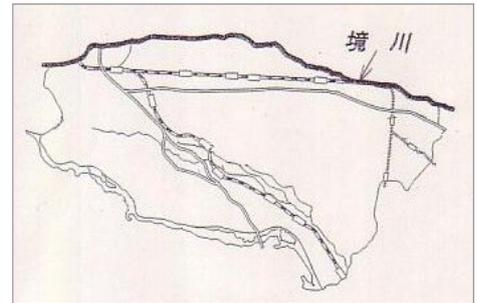


境川沿いの相模原を垣間見る～民俗部会の市内巡検～

2006（平成18）年9月5日、晴天の下、民俗部会の部会員6名と調査員補助員2名が参加して相原・大野地区の巡検が行われました。

今年10月から民俗部会の調査区域が、境川（右上地図）沿いの地域となっています。今回はその調査に先立ち、より地域を実感してもらうことを目的としました。相模原市南部の上鶴間本町・鵜野森・古淵・淵野辺から、城山町に接した相原地区まで向かうという行程で、境川に沿った約30箇所を巡検しました。



朝 出発地点のグリーンホール相模大野前からマイクロバスに乗り、まず上鶴間本町の長島神社に向かいました。泉龍寺、惣吉稲荷まで徒歩で、そこから再びバスで、金山神社、青柳寺、鹿島神社を調査しました。

その後、鵜野森の幸延寺、日枝神社を巡った後、一旦境川沿いを離れ、東大沼にある大沼神社を経て古淵の大日堂、鹿島神社まで調査したところで、午前中の行程を終了しました。



上鶴間本町・泉龍寺そばの石碑

午後 は、まず東淵野辺の龍像寺へ向かい、その後淵野辺本町の皇武神社、上矢部の乾元二年の画像板碑、薬師堂、御嶽神社を巡り、矢部の村富神社へと向かいました。

村富神社の次は、氷川神社を調査し、その後橋本の街並を車窓から眺め、相原地区へ向かいました。華蔵院、正泉寺、相原八幡宮（下の写真）を巡り、無事に巡検を終了しました。



境川（鵜野森、幸延寺附近）



相原・大野地区が広範囲で、ハードな日程であったため、当初の行程の一部を変更せざるを得ませんでした。しかし、この巡検実施日の週末に祭礼が行われる神社もあり、部会員が祭礼日情報としてメモを取ったり、石碑を熱心にカメラに収めたりして、地域の様子の把握に努めました。今後は地域の方にお会いするなどして、伝承行事など民俗関係の聞き取り等を進めていきます。（主任 稲垣 浩久）

自然部会が開かれる

自然部会が、動植物分野と地形地質分野に分かれて開かれました。

8月31日(木)に開かれた動植物分野の部会では、「自然編」が2007(平成19)年度刊行予定であることから、来年3月ころを目標に目次のあらましについて決めることとしたほか、調査を行った場所の名称の統一を図っていくことなどについて話し合われました。

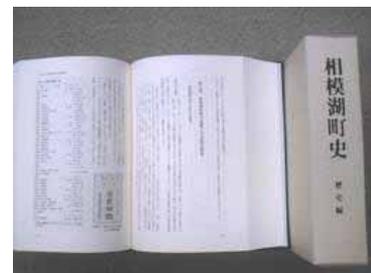
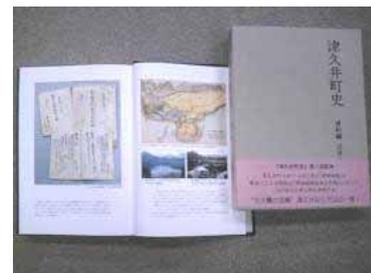
また、10月13日(金)に開かれた地形地質分野の部会では、今後新たに、地下水や気候に関する調査を行っていくこととしたほか、地層の年代等を明らかにするための調査や分析方法について検討されました。なお、一昨年から行っている関東ローム層中の植物珪酸体の分析(「市史編さんだより第17号」に関連記事)が順調に進んでいることが報告され、今後、過去何万年かにわたる気候変動について貴重なデータが得られるものと期待されます。



津久井町史・相模湖町史を販売中

市史編さん室と市立博物館、市役所・津久井総合事務所・相模湖総合事務所の各行政資料コーナーで、販売しています。

【津久井町史】	価格(円)
津久井町の昆虫 I	1,700
津久井町史 資料編 近世 1	2,000
【相模湖町史】	
相模湖町史 歴史編	14,000



町史のホームページができました



このたび、津久井町史・相模湖町史を紹介するホームページを公開しました。編さん計画や刊行物の紹介、郵送での御購入方法等について掲載しています。[市史編さん室ホームページからリンク](#)してご覧になれます。(アドレスは4ページに記載しています。)

市史編さん室ホームページを開き、左側の「津久井町史」「相模湖町史」をそれぞれクリックしてください。

シリーズ 駅・いまむかし③

小田急線相武台前駅

この駅は相模原市相武台地区と隣接しており、原当麻駅や磯部方面からのバス路線があるなど、相模原市民にも多く利用されています。

1927（昭和2）年の小田急線開通時に「座間」駅として開設されました。1937年に陸軍士官学校（現在のキャンプ座間）開校により「士官学校前」に、1941年には「相武台前」と改称しています。かつては相模川から採取した砂利を運搬するため、トロッコの軌道が敷設されていました。

駅の敷地には引込線が設けられ、広々とした感じでした。1962年までは車両検査工場（現在の相模大野工場）がありました。

（参考：『相模川の砂利採取』（1989）相模原市教育委員会、
『座間の語り伝え 交通・交易・住屋編』（1979）座間市、
『小田急五十年史』（1980）小田急電鉄株式会社、
『小田急物語』（2000）多摩川新聞社）



1975（昭和50）年8月
浜田弘明氏撮影（右下写真も）



現在の駅（左写真）と商店街の様子。角の花店は変わらず。
（2006（平成18）年10月）



上写真と同時期の駅北口の商店街。相模原市方面を望む。奥の木立は、キャンプ座間。

市史講演会を開催します

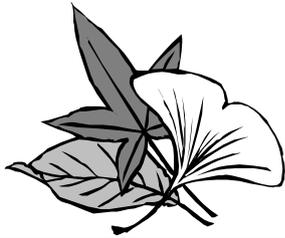
日時：平成18年11月25日（土曜日） 午後2時～4時（開場午後1時30分）

会場：相模原市立博物館 大会議室（横浜線淵野辺駅下車徒歩20分／路線バスもあります）

講師：栗田 尚弥さん（國學院大學講師）

内容：「キャンプ座間序章－占領軍と相模原－」 戦前、相模原やその周辺地域には陸軍士官学校など多くの軍事施設が置かれていました。太平洋戦争終結後間もなくこれらの施設は、連合国軍（米軍）に接收され、そのいくつかは現在でも米軍によって使用されています。今回の講演では、軍都から基地の街への移行期とも言うべき占領期に視点を置き、米軍進駐の実際、占領軍と市民の関係、占領期の諸問題等について論じます。

対象：15歳以上（中学生を除く）／受講料：無料／定員：200人（当日先着順）



編さん室の動き（9月～10月）

月	日	内 容
9	1	「市史編さんだより第32号」発行
	2	近現代部会開催
	5	民俗部会市内巡検（1ページに関連記事）
	12	神史協研修会に参加（県立公文書館）
	30	歴史資料となる旧相模湖町公文書の引き継ぎ・受け入れ作業（相模湖総合事務所） 現代編資料調査（県立公文書館）
	随時	現代編マイクロ化済公文書の複写作業（市役所本庁舎）
10	6	文化遺産部会開催
	7	現代編資料調査（県立公文書館、14・28日にも実施） 自然編資料調査（市役所本庁舎）
	11	市立博物館の消防訓練に参加
	13	自然部会(地形地質分野)開催（2ページに関連記事）
	下旬	津久井町史・相模湖町史のホームページ公開（2ページに関連記事）
	随時	現代編マイクロ化済公文書の複写作業（市役所本庁舎）



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室・市立博物館・行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	B5判・598～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・103ページ	平成17年3月
相模原市史ノート第3号	600円	A5判・102ページ	平成18年3月

「さがみはら市史編さんだより」第33号

発 行 2006(平成18)年11月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19（市立博物館隣り）

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>（相模原市トップページ）

（市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順でご覧になれます。）